

じゆうにくつろげる空間

# 図書館へ行こう

『図書館』と聞いて、皆さんは何を連想しますか？

「読書をする場所」

「勉強をする場所」

という印象が多いのではないのでしょうか。

確かに図書館には、この2つの目的のため来館される方が多くいます。

でも、もう一つ重要な役割があるのです。それは、

『くつろげる空間を提供すること』。

市内には、各地域に図書館や図書室があります。

「忙しくて読書をする暇なんてない」

という人こそ、日々の疲れを癒しにぜひ図書館へ足を運んでみてください。

きっとそこには、ホッと一息つける時間が、あなたを待っています。

## 市内図書館の現状

全国にある公共図書館の本の貸し出し数は、人口一人当たり年間平均5・2冊(平成27年度社会教育統計より)ですが、二本松市内の平成28年度現在の実績は3・3冊にとどまっています。

現在市内の図書館や図書室、移動図書館には、合わせて約21万6千冊の本や雑誌、DVDなどが所蔵されており、毎年約4千冊ほどの新刊本などを購入しています。

どの分類のどの本を購入するかは、各館の貸出状況などを分析しながら選書し、資料の収集を行っています。また話題の本や新聞で紹介された本など、お客さまが読みたい本が図書館にない場合、お客さまからのリクエストとして購入したり、市外の図書館から借りるなどして要望にお応えできるような務めています。

## 読書は

### 人の想像力を豊かにする

本を読むという行為には、「コミュニケーション力アップする」「非日常を体感で

きる」「想像力が高まる」「ストレス解消になる」「心を豊かにする」など、さまざまなメリットがあるとされています。テレビは次々と場面が変わるため、人間の脳は入ってくる情報の意味を理解することによって追われてしまい、受け身の状態です。しかし本の場合、例えば「トンネルを抜けると雪国であった」という小説の一節を読んだとき、どんな景色なのか、主人公はどんな人なのかなど、自分が過去に見た風景などの記憶をもとに想像を膨らませ、想像力を養うことにつながります。

### 「家族読書」はじめる

ご家庭で、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんが本に親しむ姿を見て、子どもたちは本への興味や関心を持つようになります。

このように、家族が一緒に本に親しむことを『家族読書』と名付け、二本松市、本宮市、大玉村の教育委員会で組織する安達地区読書活動推進委員会では、昨年2月に幼児から中学生向けの「おススメ図書100選」を提唱しました。

お子さんの大切な成長期に本に親しむことは、家族からお子さんへの何よりの贈り物になるはずですよ。図書館から本を借り、ぜひ家族読書を始めてみましょう。



▲パンフレットの一部抜粋

## 気軽に作ろう

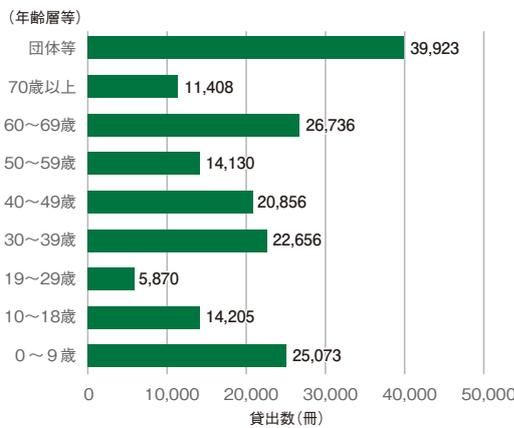
### 図書等貸出カード

市内の図書館や図書室から本やDVDを借りるには、市教育委員会が発行する図書等貸出カードが必要となります。二本松市、本宮市、大玉村内に居住する方、または市内に通勤・通学する方は誰でも無料で作成できます。詳しくは、最寄りの図書館や図書室へお問い合わせください。



## 平成28年度 年齢別貸出数

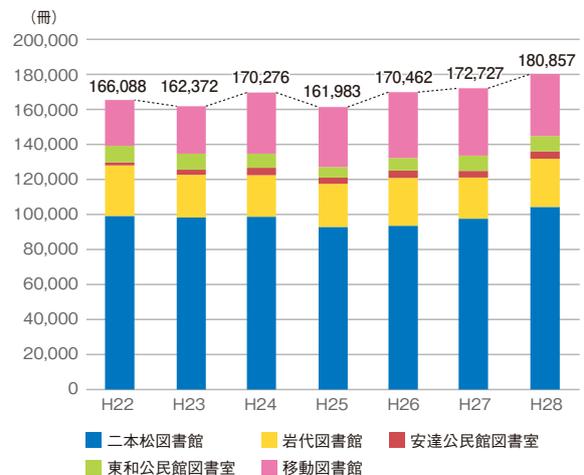
(H28.4.1～H29.3.31)



年齢別貸出数を見ると、「団体等」のくくりが最も多く約4万冊で全体の2割を占め、主に市内の小中学校や幼稚園に貸し出している。次いで60歳から69歳の方が約2万7千冊、0歳から9歳が約2万5千冊、30歳から39歳が約2万3千冊の順に多く、余暇の時間が多くなる世代や、子育て世代とそのお子さんの借りる割合が多い。

## 図書等貸出数の推移

(H22年度～H28年度)



図書等貸出数の推移をみると、若干ではあるが増加傾向にあることが分かる。その要因を分析すると、図書館の利用者数は横ばいであるのに対し、1人当たりの貸出数が増えているからです。



## 市内にある図書館・図書室を紹介します



### 安達公民館図書室

住所：油井字瀧石3-1 ☎(23)3721

貸出時間：9：00～17：00

安達公民館の2階にある図書室には、約1万2千冊の蔵書がある。子どもたちに読み聞かせをする大型絵本が約130冊置いてあり、貸し出しもしているため、子どもを集めたイベントなどで活用してほしい。



### 二本松図書館

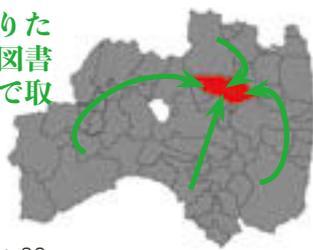
住所：本町1-102 ☎(23)5082

開館時間…火曜～金曜：9：30～18：30

土・日・祝日：9：00～17：00

二本松図書館の蔵書数は約8万冊で市内随一。建物は2階建てとなっており、1階部分には雑誌や単行本、小さい子どもたちの読書スペースがある。特に雑誌は、子どもから大人まで幅広く楽しめるよう、約60種類が取り揃えてある。2階には図鑑や辞書などの専門書が置いてある他、広い学習スペース(写真上)があり、1階とは違った静けさの中、集中して読書や勉強をすることができる。平日の平均来館者数は1日約100人で、週末は1日150人ほどが利用する。図書館の駐車スペースがいっぱいの場合、隣の市営駐車場にも車を停めることができ、図書館で駐車場無料券を交付している。

市内の図書館や図書室に借りたい本が無い場合、県内の公立図書館から、お探しの1冊を無料で取り寄せることもできます。



### 岩代図書館

住所：小浜字藤町242 ☎(55)3255

開館時間…火曜～金曜：10：00～18：00

土・日：9：00～17：00

平成5年に開館した岩代図書館は丘の頂上であり、館内の大きな窓からは、安達太良山や吾妻連峰を望むことができる。蔵書数は約7万9千冊あり、DVDやCDなどのAV資料の数は、市内一の6千点。また子どもの絵本も充実しており、子どもたちが靴を脱いで自由に絵本を読める広いスペースが特徴。DVDやインターネット、レーザーディスク等の閲覧スペースもある。



### 東和公民館図書室

住所：針道字上台132 ☎(46)4111

貸出時間：10：00～19：00(火曜～土曜)

10：00～17：00(日曜・祝日)

東和公民館の中にある図書室には、約2万7千冊の蔵書がある。図書室の窓際には、ソファやテーブルが設置されており、自分のお気に入りの場所で、自分にあったスタイルで読書や勉強をし、ゆっくりくつろげる空間となっている。



図書館職員からの  
メッセージ

## お客様のニーズにあった本を取り揃えています ぜひ図書館をご利用ください



二本松図書館司書・半澤順子さん  
二本松図書館で司書として働き始めて17年。常連のお客さまとはすっかり顔なじみで、お互い家族のように接している。

**司**書の仕事は、図書館で書物をはじめとする各種情報を整理し、市民の皆さんに読んでもらいたい本などを随時購入したりすることです。新たに購入する本の選書には特に気を付けており、図書館利用者の声を聞きながら、単行本だけでなく、例えば家を建てるときに役立つ本やイノシシ駆除に役立つ本など、どんなリクエストにも応えられるように心掛けています。また二本松図書館では、毎月『図書館職員おすすめの1冊』を入り口付近に掲示しています。機会があれば、ぜひ目を留めてみてください。

現在はインターネットで色々な情報を得られる時代ですが、図書館にはその裏付けとなる図書がたくさんあります。本で調べることで、新たな発見や情報を得られる可能性も十分あります。

「どんな本を読んだらいいの?」とカウンターで聞いてくださっても結構です。私たち職員がお客さまの好みをお聞きし、お客さまにあった1冊を見つけ出します。

利用者  
の声

### 図書館は、私の生活の一部になっていきます



平間志く子さん(茶園)  
長年務めた仕事を退職後、ほぼ毎日図書館に通い、新聞や雑誌、大好きな歴史小説などを読んでいる。

**私**が本を好きになったのは、小さい頃に父が私に『世界文学全集』を読み聞かせてくれたのがきっかけでした。それからというもの、時間を見つけては本を読むようになりました。

仕事を退職した後、二本松図書館へはほぼ毎日通っており、大好きな歴史小説など、ひと月に20冊は借りています。また図書館には毎月新刊書が入るので、新刊をいち早く読めるのも楽しみの一つです。新聞は9社分揃っており、家どつていいる以外の新聞を読むことで、人との会話の幅が広がっています。

私が図書館へ来るのは、ただ本が読みたいからだけではありません。一番はこの図書館の温かみに誘われているのかもしれない。館内の雰囲気、そして図書館スタッフの親切丁寧な対応が、私を図書館へと誘っているのだと思います。

今まで図書館へ行ったことが無い人も、ぜひ図書館を利用してみてください。アットホームな館内の雰囲気が、きっと皆さんを和ませてくれます。

### 親子で成長する 読み聞かせ

子どもに本を読み聞かせることは、子どもにとつてさまざまな良い点があると言われています。その一つが『集中力』です。

言葉があまり理解できない年齢だったり、動くのが好きな年齢だと、最初は読み聞かせていても次のページをどんどんめくっていったり、飽きて途中でどこかへ行ってしまうことがあります。しかしそこで大人が諦めず、毎日読み聞かせをしてあげるうちに、子どもたちはだんだんと絵本に興味をもつようになります。

そして話の内容が分かるようになる頃には集中力がつき、物語に入り込んで、まるで主人公になったかのようにいろいろなことを感じるようになります。

一方、読み聞かせをする大人にもプラスの効果があるとされています。音読というのは脳の前頭前野という部分を活性化させる脳のトレーニングになるため、音読で前頭前野を鍛えることで、感情や

記憶のコントロール、思考力、集中力がアップするからです。また市内の4地域には、それぞれ読み聞かせをするボランティア団体があり、二本松図書館と岩代図書館では毎月1回、図書館内でおはなし会を開催しています。広報にほんまつに掲載している図書館だよりで、開催日を毎月お知らせしていますので、ぜひご参加ください。

### 図書館は、自分だけの空間をつくれる場所

人生にとってプラスとなるような、そんな素敵な人との出会いはめったにありません。しかし図書館に行けば、あなたの普段の生活や人生を大きく変えてくれるような、そんな運命の1冊と出会えるかもしれません。本には、人の人生を変えるだけの力があります。

学校や職場、家庭などとは違い、図書館の中では、普段の生活とは違う自分だけの空間をつくることができます。そのゆつたりとした空間の中で、ひとときの休息をとりながら、運命の1冊を探してみたいかがでしょうか。